

経営比較分析表（令和6年度決算）

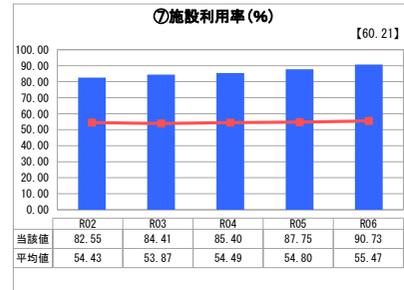
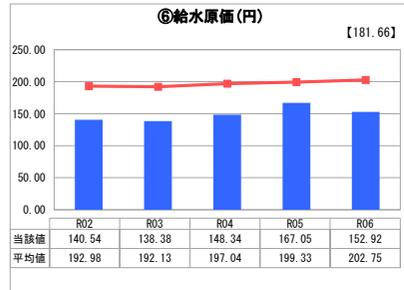
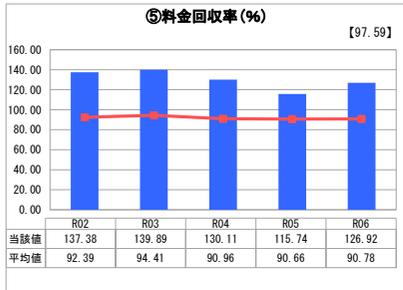
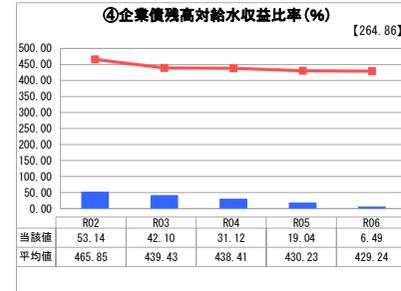
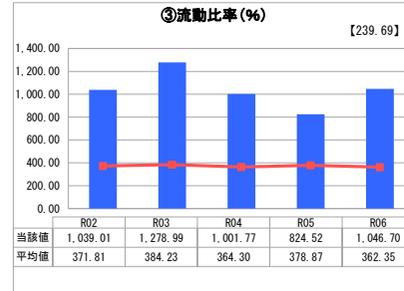
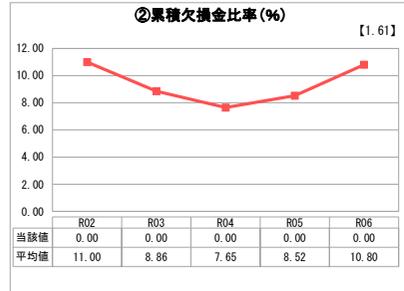
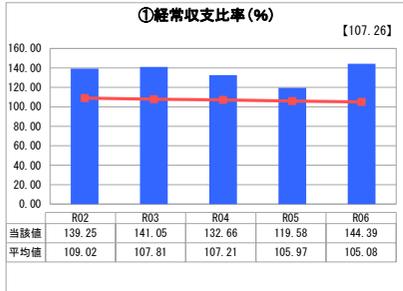
宮崎県 川南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客産料金(円)	
-	97.59	96.59	3,828	

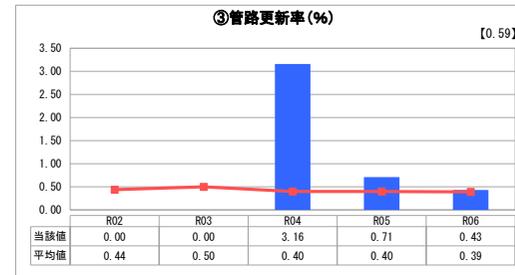
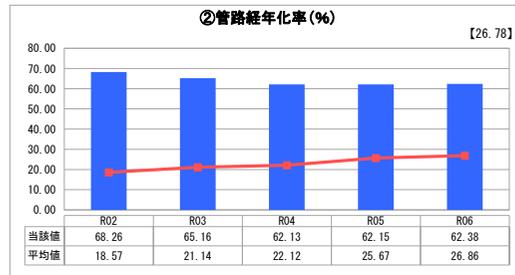
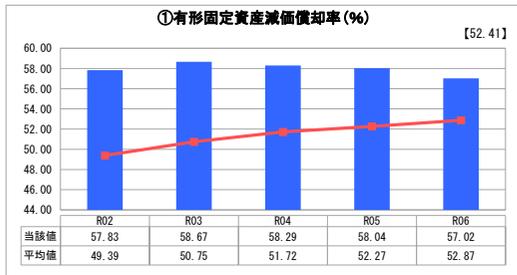
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,617	90.13	162.18
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,957	54.90	254.23

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

○ 経営の健全性
 経常収支比率は、退職引当金の取扱方法を変更したことにより、引当金繰入益が発生したため、前年度から24.81ポイント増となりました。
 累積欠損比率は、引き続き0%となっています。
 流動比率は、前年度から222.18ポイント増となりました。依然として高水準にあり、支払い能力を十分に示していることを示しています。
 企業債残高対給水収益比率は、近年新規借入を行っていないため、低水準を維持しております。
 料金回収率は、前年度から11.18ポイント増となりました。引き続き100%を超過していることから、給水収益で給水に係る費用を賄っていることを示しています。
 経営健全性に関する指標の全てが健全性を示しています。

○ 経営の効率性
 給水原価は、前年度から14.13ポイント減となり、引き続き全国平均等と比べて低い水準にあります。
 漏水の増加により施設利用率は前年度から2.98ポイント増となり、有収率は2.89ポイント減となりました。配水管及び給水管の老朽化により、漏水が増加傾向にあり有収率の低下を招いています。有収率は、全国平均等と比べて著しく低水準であり、かつ、低下傾向にあります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、前年度から1.02ポイント減となりましたが、依然として全国平均等より高水準にあります。
 管路経年化率は、前年度並みの62.38%と全国平均等より著しく高水準にあります。
 管路更新率は、工事の繰越があったため、前年度から0.28ポイント減となりました。
 本町水道事業は、供用開始後49年が経過し、施設・管路の老朽化が進んでおり、多くの施設が更新時期を迎えています。施設更新の工事等が増加させていますが、依然として、全国平均等より老朽化が進んでいることを示しています。

全体総括

経営の健全性を担保している一方で、施設の老朽化が顕著となっています。
 特に重要施設については、震災に備えるため早急な耐震化が求められています。そのため、令和7年度から重要施設の耐震化を実施します。
 また、漏水対策については、有収率が著しく低下していることから、抜本的な対策が求められています。
 経営の健全性は担保していますが、物価高騰や漏水の増加により費用が増加傾向にあることや施設の更新、耐震化等のための建設改良費が増大することが予想されることから、経営状態の悪化が懸念されます。必要に応じて水道料金改正の検討が必要で